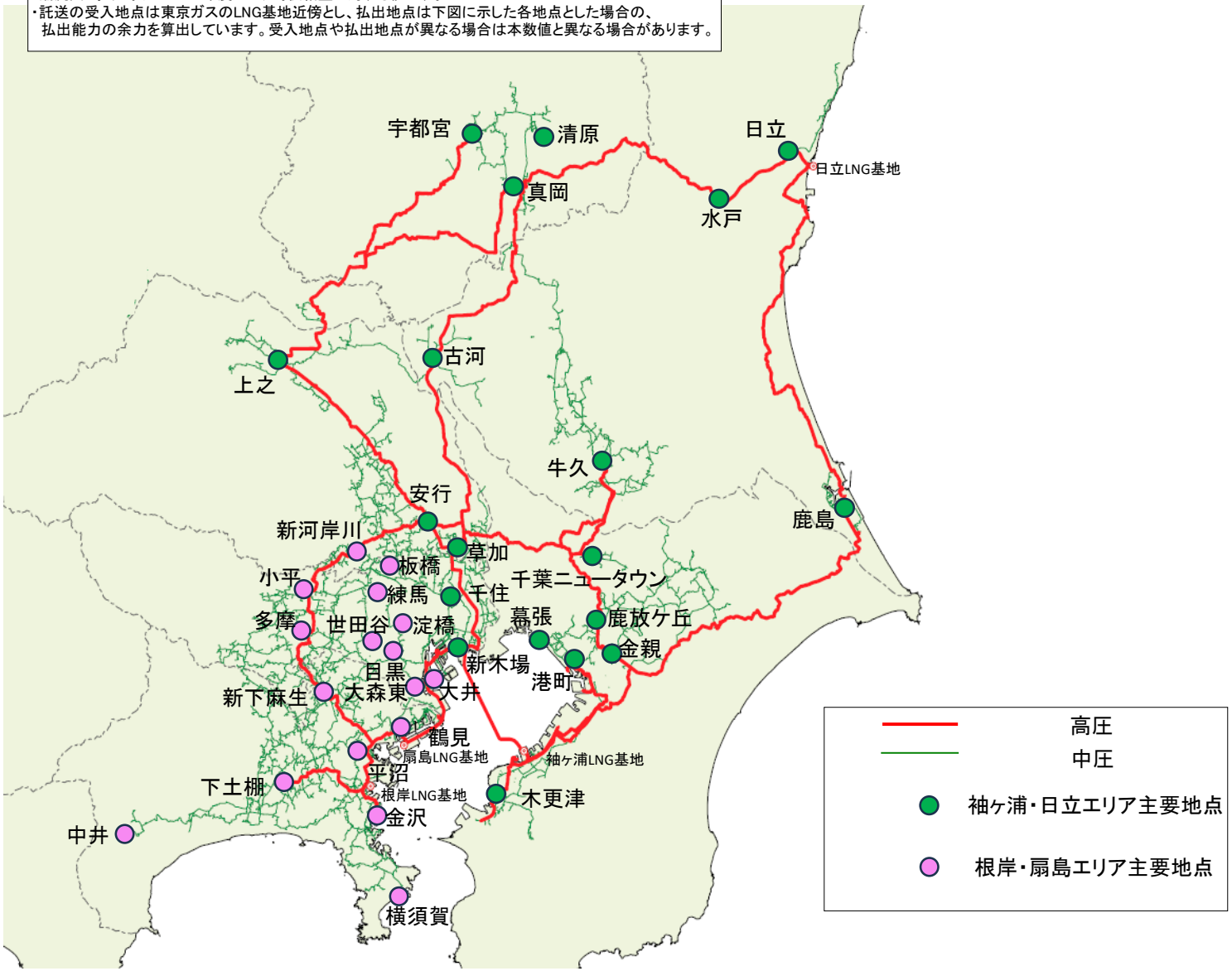
主要導管の潮流図と払出余力(2030年度)

2026年11月
東京ガスネットワーク株式会社

・輸送余力は託送ガスの受入量と払出量の同時同量が保たれている場合の値です。
・潮流図と払出余力は2030年度ピーク時供給量に対する値です。
・託送の受入地点は東京ガスのLNG基地近傍とし、払出地点は下図に示した各地点とした場合の、
払出能力の余力を算出しています。受入地点や払出地点が異なる場合は本数値と異なる場合があります。



袖ケ浦・日立エリア			
主要地点	払出能力（千m^3/h）	2030ピーク時想定供給量（千m3/h）	余力（千m^3/h）
真岡	83.0	52.0	31.0
宇都宮	7.0	7.0	0.0
水戸	14.0	14.0	0.0
日立	19.0	6.0	13.0
上之	84.0	51.0	33.0
古河	64.0	28.0	36.0
牛久	62.0	41.0	21.0
千葉ﾆｭｰﾀｳﾝ	26.0	8.0	18.0
安行	27.0	20.0	7.0
草加	136.0	106.0	30.0
鹿放ケ丘	100.0	81.0	19.0
鹿島	100.0	35.0	65.0
港町	72.0	26.0	46.0
金親	35.0	15.0	20.0
木更津	41.0	18.0	23.0
新木場	163.0	89.0	74.0
千住	150.0	89.0	61.0
清原	63.0	30.0	33.0
幕張	51.0	3.0	48.0

根岸・扇島エリア			
主要地点	払出能力（千m^3/h）	2030ピーク時想定供給量（千m3/h）	余力（千m^3/h）
大井	205.0	148.0	57.0
鶴見	264.0	201.0	63.0
下土棚	200.0	92.0	108.0
金沢	100.0	61.0	39.0
新河岸川	160.0	140.0	20.0
小平	100.0	63.0	37.0
多摩	90.0	44.0	46.0
新下麻生	250.0	140.0	110.0
練馬	100.0	88.0	12.0
世田谷	160.0	87.0	73.0
平沼	150.0	48.0	102.0
板橋	95.0	65.0	30.0
淀橋	130.0	130.0	0.0
目黒	130.0	105.0	25.0
大森東	130.0	112.0	18.0
横須賀	30.0	4.0	26.0
中井	83.0	52.0	31.0